

会議記録

名称	大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会
開催日時	令和3年2月19日（金） 13時30分から14時00分まで
開催場所	熊谷衛生センター 2階大会議室
出席者	委員11名（欠席1名）、構成市町関係者1名、事務局9名
傍聴人	0名
問い合わせ先 （所管課）	大里広域市町村圏組合 建設準備課 電話：048-532-6631
内容	<p>第5回大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会</p> <p>1 開会 委員12名中11名出席のため大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会条例第6条第2項の規定による会議の成立を報告</p> <p>2 会長あいさつ 河野会長からあいさつ 皆様こんにちは。会長の河野でございます。 前回に引き続き、緊急事態宣言下の中、お集まりいただきありがとうございます。 本日は令和2年度最後の検討委員会となります。中間答申に向けて、事務局からの提案について御審議いただければと思います。 それでは本日もよろしくお願いいたします。</p> <p>3 議事 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会条例第6条の規定により会長が議事進行</p> <p>(1) 中間答申書（案）について （事務局） それでは、御説明させていただきます。 中間答申は、諮問事項に対する中間答申内容を記載した中間答申書と、中間答申書の別添資料として、経緯や詳細</p>

内容	<p>を記載した中間答申報告書による構成を考えています。</p> <p>中間答申では、諮問事項の内、「ごみ焼却施設の規模に関する事」、「建設候補地に関する事」について、答申します。</p> <p>まず、「中間答申書（案）」を御覧ください。</p> <p>「ごみ処理施設の規模に関する事」については、組合全体で1日当たり422t～501t程度とすることを答申したいと考えております。なお、「循環型社会形成推進地域計画策定時及び大里広域市町村圏組合一般廃棄物処理基本計画改定時における最新のごみ予測量を踏まえ、施設規模を最終的に確定しなければならない工事発注段階において、過不足のないごみ焼却施設の規模を設定していただくことを期待します」となお書きをしたいと考えております。</p> <p>次に、「建設候補地に関する事」については、熊谷市別府地内（都市計画上「熊谷衛生センター」と位置付けられている区域内）、深谷市榎合地内（都市計画上「深谷衛生処理場」と位置付けられている区域内）の2か所を答申したいと考えております。なお、「施設を整備するにあたっては、地元住民の理解が得られるように努めていただくことを期待します」となお書きをしたいと考えております。</p> <p>次に別添資料「中間答申報告書（案）」を御覧ください。</p> <p>中間答申報告書では、表紙裏にある目次のとおり、施設整備の基本方針（コンセプト）、施設規模、施設数、建設候補地について記載をしており、本委員会で中間答申に至る経過についての報告となります。</p> <p>1ページを御覧ください。第2回検討委員会で御説明させていただきました施設整備の基本方針については、No.1から重要度の高い順としており、5つを定めております。</p> <p>次に2ページから8ページまでは、施設規模の算定根拠についてまとめております。</p> <p>8ページに施設規模の結論をまとめており、第2回検討委員会で御説明させていただきましたとおり、通常分の施設規模と災害廃棄物分の施設規模を合わせ、組合として必要な新施設の全体規模は1日あたり422t～501tとなります。</p> <p>なお、循環型社会形成推進地域計画策定時及び大里広域市町村圏組合一般廃棄物処理基本計画改定時における最新のごみ予測量を踏まえ、施設規模を最終的に確定しなければならない工事発注段階において、過不足のないごみ焼却</p>
----	---

内容	<p>施設の規模を設定する必要があることを申し添えています。</p> <p>最後に、9 ページ、10 ページは施設数について、11 ページから 16 ページが建設候補地についてまとめております。施設数については第 2 回検討委員会で御説明させていただき、建設候補地については第 4 回検討委員会で御説明させていただきました。施設数を基に建設候補地について検証をした経緯をまとめております。</p> <p>施設数については、9 ページのとおり、1 施設体制、2 施設体制、3 施設体制を比較した結果として、2 施設体制が、評価点が「1 施設体制」、「3 施設体制」と比較して高く、また、評価において「C」評価のない体制でした。</p> <p>この結果を基に、建設候補地については、熊谷市別府地内及び深谷市榎合地内について、建設候補地として適地か検証を行いました。</p> <p>11 ページ及び 12 ページの図 3、図 4、図 5 にて、建設候補地の位置及び区域についてお示ししております。</p> <p>検証した結果、16 ページのとおり、熊谷市別府地内、深谷市榎合地内はどちらも建設可能であり、建設候補地として適切であると判断できることから、建設候補地を熊谷市別府地内、深谷市榎合地内の 2 か所としました。なお、施設を整備するにあたっては、地元住民の理解が得られるように努めるものとします。</p> <p>資料について、事務局からの説明は以上です。</p> <p>(意見、質問) (委員)</p> <p>検討委員会での議論の中で、民間委託の話があったと思うが、何か理由があって中間答申に全く記載がないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>諮問事項ではないことから、記載しておりません。</p> <p>(委員)</p> <p>7 ページの災害廃棄物の規模設定について、最終的には構成市町の災害廃棄物処理計画をベースにする必要がある。交付金申請時にも確か災害廃棄物処理計画を提出するはずである。</p> <p>県の指針を基にした現状のものと最終的な結果は一緒になるかもしれないが、「最終的には、構成市町が策定する災</p>
----	---

内容	<p>害廃棄物処理計画に基づいて、施設規模を設定する必要がある」というような文言をいれた方が良いでしょう。</p> <p>(事務局)</p> <p>御指摘のとおり、最終的には構成市町の災害廃棄物処理計画をベースにしたいと考えているため、文言を追記したいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>中間答申書(案)「2 中間答申内容」(1)の、なお書きの記載について、先ほどの災害廃棄物処理計画の件もあるので、「なお、循環型社会形成推進地域計画策定時及び大里広域市町村圏組合一般廃棄物(ごみ)処理基本計画改定時における最新のごみ予測量」の後ろに「等」と入れた方が良いでしょう。中間答申報告書(案)8ページの(6)施設規模の記載についても同様。</p> <p>(事務局)</p> <p>御指摘の内容を反映したいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>それでは、事務局から提案のあった中間答申案について、災害廃棄物の部分などの修正を含めて、事務局案のとおり中間答申することによろしいか。</p> <p>→(委員一同賛成)委員の皆様は中間答申書と中間答申報告書の(案)を消してください。</p> <p>(委員)</p> <p>中間答申の予定はどうなっているか。</p> <p>(事務局)</p> <p>中間答申については、2月25日(木)10時から、熊谷市曙町にあります大里広域市町村圏組合本部の管理者室にて執り行いたいと考えております。</p> <p>4 その他</p> <p>(事務局)</p> <p>慎重審議をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>ただ今御了承いただいた中間答申の取扱いに関しまして、この先の流れを御説明いたします。</p> <p>先ほど申し上げましたとおり、2月25日(木)10時、組合曙町事務所において、本組合管理者の熊谷市長、副管理者の深谷市長及び寄居町長同席のもと、河野会長から管理者へ、中間答申書の手交をしていただく予定でございます。</p>
----	--

内容	<p>この中間答申を基に、施設規模、建設候補地に関する最終的な組合の方針を、管理者が本年度内に決定いたします。</p> <p>また、今後の本検討委員会の開催予定について、「令和3年度検討委員会・技術専門部会スケジュール案」をお配りさせていただきました。現時点では、開催月の予定のみとなっておりますが、詳細な開催日時、議題等に関しましては、別途開催通知等で御案内させていただきます。なお、会場につきましては、これまで同様、熊谷衛生センターを予定しております。</p> <p>さて、令和2年度の検討委員会は本日が最後となります。昨年8月の第1回目の開催以来、お忙しい中、また、コロナ禍のもと、御協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>令和3年度につきましても、引き続き、委員皆様の御知見と御助言を頂戴できれば幸いです。よろしく願いいたします。</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----	--